

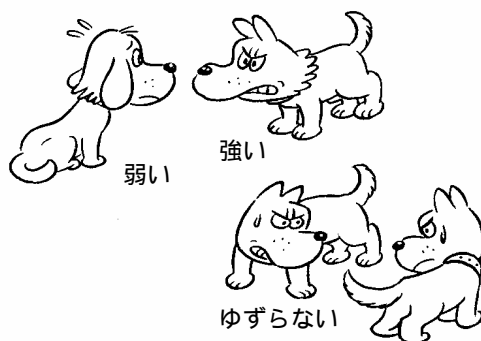
イヌはどうしてしっぽをふるの

しんあい きも あらわ 親愛の気持ちの表れ

イヌがしっぽをふるのは、うれしいときです。旅に出て、しばらく姿を見せなかった飼い主が戻って来たときなど、体をくねらせて、おもいきりしっぽをふり、喜びを表します。また、家人がちょっと買い物に出かけるとき、寝そべったイヌがめんどうくさそうに、しっぽをもうしわけていどに上げる場合もあります。あるいは、見知らぬ人が近づくと、警戒の動作の合間に、ゆっくりしっぽもふります。これなどは疑い半分、親愛半分といった感じでしょうか。このようなときは少し注意しましょう。しっぽのふり方で、かなりイヌの気持ちが分かります。はげしくしっぽをふるのは敵ではないよ、仲良くしようよ、と親愛の気持ちがあるときだけのようです。

あいず しっぽの合図

イヌは、しっぽで合図をします。散歩のとき、イヌ同士が出会うと、強いイヌは背をのばし、しっぽを高く上げます。一方、弱いイヌは、しっぽをまいて、背をちぢめ、いそいで通りぬけようとします。「しっぽをまく」という言葉は、このイヌの様子からきたもので、まけを認めたとときの表現です。（監修・今泉 忠明）



しっぽが下がるほど弱気

